

- 1 主題名 友達への注意 …… 【B 友情, 信頼】
- 2 教材名 「大きな絵はがき」(出典 新しい道徳 東京書籍)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本主題は、中学年の内容項目 B「主として人との関わりに関すること」の10「友情, 信頼」において、「友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うこと」をもとに設定したものである。中・高学年になると、気の合う友達同士で仲間を作り楽しむ傾向がある。一方で、周りの目を気にしたり友達の気持ちを考えたりすると、自分の気持ちを言えないという場面も見られるようになる。友達とのよりよい関係の在り方を多面的・多角的に考えることにより、互いに信頼し伝えたいことが伝え合える健全な仲間集団や、より良い友達関係を築けるための心情を育てたい。

(2) 児童の実態について

実態調査 9月3日実施 21名

項目	回答
1 仲の良い友達はいますか。	いる…21名
2 友達とは、どんな人のことだと思いますか。 (複数回答)	一緒に遊ぶ人…21名 助けてくれる人…17名 相談できる人…16名 趣味が同じ人…10名
3 友達がいてよかったなと思うのはどんな時ですか。(複数回答)	遊んでいる時…14名 助けてくれた時…12名 相談にのってくれた時…11名 失敗を励ましてくれた時…1名
4 友達の力になってあげたいと思いますか。	そう思う…20名 どちらかと言えばそう思う…1名
5 仲の良い友達に注意することはできますか。	そう思う…9名 どちらかと言えばそう思う…10名 どちらかと言えばそう思わない…1名 そう思わない…1名

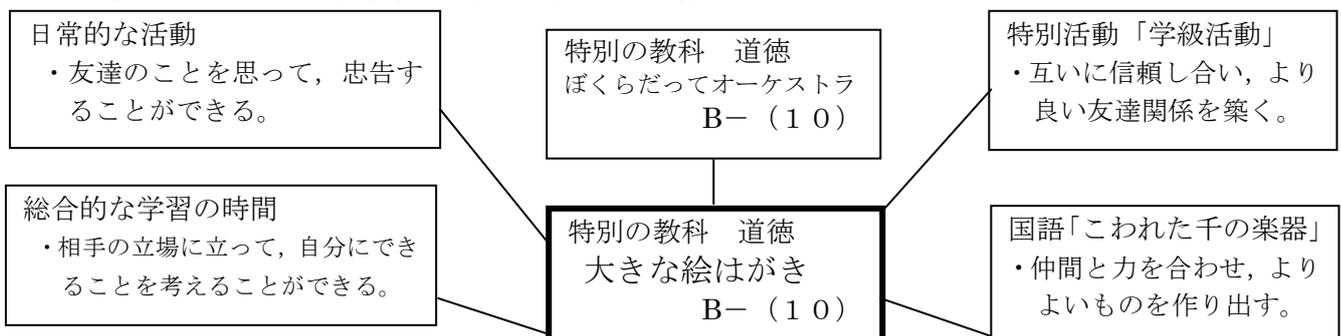
実態調査の結果から、児童全員が仲の良い友達がいると感じており、広い意味で「友達」を捉えていることが分かる。また、友達の力になりたいというように、誰かのために進んで動こうという意欲も高い。児童観察からも、素直で優しくいろいろな友達と助け合う姿が多く見られる。しかし、児童にとって友達とは、表面的な楽しさや優しさを感じられる存在であり、仲の良い友達には注意しづらいと感じている児童もいることが分かる。友達を思い忠告し合える関係も素晴らしい友情であることに気付かせたい。また、児童のよさである優しさや相手を思う気持ちを大切によりよい友達関係が築けるようにしていきたい。

(3) 教材について

本教材は、仲良しの友達から届いた定形外郵便の料金不足について、本人にそのことを教えるか、お礼だけにするか、主人公が葛藤する話である。「自分がどうしたいか」だけでなく、「友達としてどうすることがよいのか」を考えられる教材である。

デジタル教科書を用いて教材の結末以前を読み聞かせ、自分が主人公の立場だったらどうするか、自分事として捉えて考えられるようにする。また、友達との交流でいろいろな意見に触れる中で、料金不足を教えるのもお礼だけにするのも、どちらも根底には友達を思う気持ちがあることに気付き、だからこそどうすればよいのか思い悩む主人公の葛藤に共感させたい。そして、主人公が料金不足を教えることに決めたことから、これまでの表面的な仲の良さだけではなく、信頼し忠告し合える関係が真の友情であることを知り、お互いに高め合える友達関係を築くことにつなげたい。

4 他の教科等における道徳教育との関連 (本時は太枠)



5 本時の指導

(1) ねらい

主人公の心情や葛藤を自分事として捉え考えることを通して、友達と互いに信頼し合い、時には忠告し合いながら、より良い友達関係を築いていこうとする心情を育てる。

(2) 準備・教材

・読み物教材 ・挿絵 ・タブレット ・ワークシート

(3) 展開

☆配慮を要する児童への手立て

学習の流れ	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	児童への支援と評価 (◎評価)
問題意識をもつ	1 「友達」についてこれまでを振り返る。 ○友達とは、どんな人のことですか。 友達と今よりもっと仲を深めることについて考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> 一緒に遊ぶ。 助けてくれる。 楽しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の存在について全体で確認し、本時の道徳的価値への方向付けをする。
教材で考える	2 教材文の前半を読んで話し合う。 ○正子はどんな思いで広子に絵はがきを書いたのでしょうか。 ○仲良しの正子から絵はがきをもらって、広子はどんな気持ちになったでしょう。 ◎自分が広子の立場だったら、どうしますか。 (1) 自分の考えをグループで伝え合う。 (2) 全体で意見を伝え合う。 3 教材文の後半を読んで考える。 ○広子はどのようにして料金不足について教えることにしたのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> 広子に会いたいな。 喜んでほしい。 うれしいな。 正子に会いたいな。 ありがとう。 返事を出したい。 <p><u>料金不足を教える。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 他の友達にも間違えて送ってしまうかもしれない。 <u>自分だったら教えてほしい。</u> <p><u>お礼だけにする。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> いやな気持ちにさせてしまうかも。 嫌われたらどうしよう。 <ul style="list-style-type: none"> 正子なら分かってくれると思えたから。 教えたほうが正子のためになるから。 	<ul style="list-style-type: none"> 定形外郵便の説明をし、教材の内容の理解を図る。 デジタル教科書を用いて教材の結末以前を読み聞かせ、自分事として考えていけるようにする。 <p>☆はがきを送る、もらうという自分の経験を想起できるよう声をかけ、気持ちを考えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットのポジショニング機能を活用し、自分の考えを示した後に全体で考えを共有できるようにする。 理由を話し合う中で、自分と違った意見に触れ、多面的に考えることによって、気持ちの変容や今後の実践につなげられるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> 信頼し合っているから「分かってくれる」と思うことができ、教えることに決めたことをおさえる。 <p>☆話合いで出た友達の意見を参考に考えてよいことを伝える。</p>
多面的・多角的に見つめ、考える	4 より良い友達関係について考える。 ○友達との関係をもっとよいものにするために、どんなことが大切だと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> 間違えているときはお互いに教える。 教えてもらったことはしっかり聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入時の友達観と比べたり、友達の意見から新たに学んだりしたことをもとに、より良い関係のために大切なことを考えられるようにする。
自己の生き方について考える	5 本時の学習を振り返る。 本時の学習で感じたことや考えたことをワークシートに書く。 6 教師の説話を聞く。		<p>◎ 主人公の心情や葛藤を自分事として捉え、友達と互いに信頼し合い、時には忠告し合える、より良い友達関係について考えることができたか。 【発表・ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> 忠告してもらえてよかった経験を話し、信頼や友達を思う気持ちの大切さを伝えられるようにする。

6 事後の指導

・友達のことを思った言動について称賛したり励ましたりして、日々の生活の中で自信をもって判断する力を育成できるようにする。また、より良い友達関係を築けるような学級経営に努めていく。